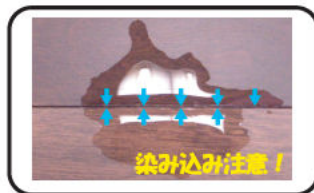


フローリングの床をいつまでも美しい状態に保つためのお手入れ方法についてご紹介します。日常のお手入れをきちんとすることで傷や汚れからフローリングを守る事ができますが、正しい作業を行わなければ、せっかくのフローリングを傷めてしまう原因になります。フローリングの特性をきちんと理解し、正しいお手入れ方法・手順で作業を行ってください。

■フローリングの特性



1 フローリングにとって水分は大敵です
 フローリングの表面に塗装が施された部分は、ある程度の水分が接触しても影響の少ないように造られています。目地の部分に大量の水分が長時間接触すると、染みこんでフクレなどの悪影響が生じる可能性があります。また、水の影響により床材表面が干割れを起こす可能性もあります。



2 土砂の影響により傷む事があります
 土砂(土埃など)は放っておくと、スリッパの底などに付着し、紙ヤスリと同じような作用をします。いつまでも美しい状態を保つためには、土砂も大敵ですので、日常のお手入れで確実に取り除きましょう。
ヒント! 土砂で付いた擦り傷は、ワックスで目立たなくする事ができます。

■日常のお手入れ



1 フローリング表面のゴミ・ホコリを取り除きます
 掃除機や乾式フロアワイパーなどを使用してゴミやホコリを取り除きます。化学雑巾や化学モップなどの使用は避けてください。



2 固く絞った雑巾などで床面の湿り拭きを行い、汚れを取り除きます
 掃除機などで取りきれなかった土埃などや汚れを、水で湿らせた雑巾などで拭き上げます。ゴシゴシ擦らず一定方向に拭くのがコツです。
ご注意! 床を濡らし過ぎないようにして下さい



3 湿り拭きでは取れない汚れがある場合には、中性洗剤を用いて取り除きます
 人の皮脂や調理による油煙などにより付着した汚れは、水では落とすことが出来ませんので、中性洗剤を使用します。週に1~2度は、全面を行うとスッキリした状態を保てます。
ご注意! 洗剤を多量に使用すると床材のフクレの原因となります事があります。



4 洗剤を使用した場合には仕上げの湿り拭きをします。
 せっかくきれいにしても、洗剤成分が残っていると汚れが付くようになってしまいます。洗剤はなるべく早く丁寧に拭き取ってください。



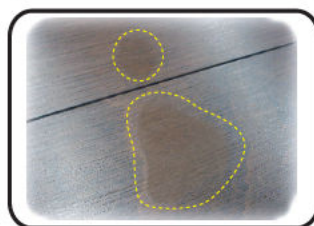
5 週に1度はスリッパの底の拭き掃除を...
 床面をいくらきれいにしても、スリッパの底が汚れていると、床面の汚れや傷の付着の原因になります。床の中性洗剤拭きに合わせて、スリッパの底面に付いた汚れや土埃などを取り除きます。



a 水拭きと湿り拭きの違い...
 一般に水拭きと言われる作業は、床を濡らして汚れを取り除くというイメージがあり、このような作業はフローリングにとって悪影響を引き起こす可能性があります。特に、目地周辺を濡らすような作業を行うと、フクレやシミの原因になることがあります。また、床を濡らす頻度が高いと、床材表面に干割れが生じてしまう可能性もあります。ワックスを塗布することで、この影響を少なくすることができます。



フローリングに対して影響の少ない水拭きの仕方を一般的な水拭きと区別するため、お手入れ上では湿り拭きと言われる作業...
床の表面がわずかに湿る程度の水分で汚れを取る作業...を行う必要があります。



b 中性洗剤の必要な床面状況
 左の写真の様に、水拭きした際に浮き出てくる(濡れた様に見える)油汚れが多くなってきた時や、水のハジキが極端に激しくなった時に、中性洗剤を使用すると効果的です。
アルカリ性の洗剤は、床面や樹脂ワックスに悪影響を及ぼす恐れがあるため、使用を避けてください。

インデックス・ガイド

必要に応じて以下の資料をご参照下さい。

- ワックスを塗りたい ▶▶▶ **ワックス導入編** をご覧ください。
- ワックスのツヤが無くなってきた ▶▶▶ **ワックス中間お手入れ編** をご覧ください。
- ワックスを塗り直したい ▶▶▶ **ワックス塗り替え編** をご覧ください。